

Prova A24_Giapponese

Lingue e culture straniere negli istituti di istruzione secondaria di secondo grado (Giapponese)

Domande a risposta aperta

Quesito 1 – 日本語の品詞の主なカテゴリーを記述しながら、イタリア語との相違点と類似点を取り上げて、具体的な例をげよ。

Quesito 2 – 社会言語学的なアプローチで、学生に日本語の社会種、地方種（方言）の存在を紹介して、「標準語」は抽象的な概念であることを認識させるための教育的なストラテジーを述べよ。

Quesito 3 – 受け身を導入するのは初級のどの段階で、どのように導入して練習させるのがよいか述べよ。

Quesito 4 – 敬語はどのように導入して練習させるのがよいか述べよ。

Quesito 5 – 自国の文学、またはヨーロッパ文学との比較を中心にして、日本の近代文学における自然主義の特徴を概略的に述べよ。

Quesito 6 – イタリア語の入手可能な小を念頭に置いて、後の日本文学の主な流派、そして代表的な作家の紹介を構築せよ。

Quesito 7 – 日本のエネルギー政策について導入するにはどのようにすればよいか述べよ。

Quesito 8 – 日本の高齢化社会の問題を導入するにはどのようにすればよいか述べよ。